

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

本研究は浜松医科大学の生命科学・医学系研究倫理委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	間質性膀胱炎に対する人工知能による内視鏡画像診断技術の開発		
1. 研究の目的と方法	本研究では人工知能(AI)による内視鏡画像診断支援ソフトウェアを開発し、間質性膀胱炎の早期発見・早期治療に寄与することを目的とします。その方法は、あなたがこれまでに外来あるいは手術室で撮影した内視鏡静止画像を個人情報が入り込まないよう匿名化した後、AIに解析させます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	間質性膀胱炎と膀胱癌の患者さんで、2019年12月31日以前に浜松医科大学医学部附属病院にて、膀胱鏡による検査や治療を受けた20歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、病理所見、内視鏡静止画像	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	浜松医科大学 泌尿器科 准教授
		氏名	大塚 篤史
	(2) 当施設の長	浜松医科大学 学長 今野 弘之	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	東京慈恵会医科大学 泌尿器科 准教授 古田 昭 (機関の長: 松藤 千弥) 名古屋大学大学院情報学研究科 教授 森 健策 (機関の長: 杉山 直) 東京女子医科大学附属足立医療センター泌尿器科 教授 巴 ひかる (機関の長: 岩本 絹子) 山梨大学泌尿器科 教授 三井 貴彦 (機関の長: 木内 博之) 旭川医科大学泌尿器科 准教授 橘田 岳也 (機関の長: 西川祐司)	

	<p>名古屋大学医学系研究科泌尿器科 講師 松川 宜久 (機関の長：小寺 泰弘)</p> <p>浜松医科大学泌尿器科 准教授 大塚 篤史 (機関の長：今野 弘之)</p> <p>富士市立中央病院泌尿器科 部長 村上雅哉 (機関の長：児島章)</p>
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2023年8月頃～</p>
【問い合わせ先】	<p>機関名：浜松医科大学 泌尿器科</p> <p>研究責任者：准教授 大塚 篤史 (おおつか あつし)</p> <p>電話番号：053-435-2306</p> <p>対応時間：平日 9：00 ～ 16：00</p>

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。